

座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会活動報告書

平成30年7月10日

| | |
|--------|--|
| チーム名 | 【普及啓発と地域資源把握チーム】 |
| チーム員 | <p>リーダー：西澤昭人（座間市歯科医師会） 副リーダー：小林孝行（座間市社会福祉協議会） 石黒宏昭（デイサービスオレンジクラブ） 増井真里江（ごま介護支援専門員協会） 池田洋美（セントケア訪問看護ステーション座間） 筒井 すみ子（ふれんどりい） 生野 啓子（グループホームイーケア座間） 山内 京子（特別養護老人ホーム第二座間苑） 小清水宗頼（介護唐人保険施設 神奈川セントラルケアセンター）</p> |
| 研修・講演会 | <p>*任期:平成28年8月1日～平成30年7月31日 <u>在宅医療介護の普及啓発を目的とした「市民向け講演会」</u></p> <p>●平成29年1月21日（土）10時00分～12時00分 テーマ「プロが教える介護のイロハ」～座間で最期まで暮そう～ 講師 普及啓発と地域資源把握チームメンバー ごま介護支援専門員協会 増井真里江氏 座間市地域包括支援センター職員 内容 介護申請後の在宅サービス、施設サービスについて寸劇形式で情報を提供する。地域包括職員による介護相談ブースを設置する。 場所 サニープレイス座間多目的室A B 参加者 一般市民57名、会議メンバーが19名 合計76名 介護相談ブース相談件数 9件</p> <p>*応募者が少なく、タウン誌（タウンニュース、リベルタ）に掲載、市のホームページを作成し周知した。</p> <p>●平成30年3月17日（土）10時00分～12時00分 テーマ つながり 気づく まちづくり ～支え合う地域づくりを目指して 東京都大田区の高齢者見守りネットワーク（愛称：みま～も）を知ろう～ 講師 社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンターセンター長 澤登 久雄氏 内容 「高齢者が住み慣れた地域で生活をするにはどうしたらよいか」の課題解決に向けて、地域のあらゆる社会資源と協働し、地域包括ケア実現に向け全国でも先駆的な活動を生み出しているネットワークモデル「おおた高齢者見守りネットワーク」（愛称：みま～も）を紹介する。 場所 サニープレイス座間多目的室A B 参加者 43名（座間市民・地区社会福祉協議会・老人クラブ連合会・民生員児童委員協議会・商店会・商工会・自治会・NPO団体等に所属している方）、会議メンバー22名 合計 65名</p> <p><u>在宅医療介護連携の推進を目的とした多職種による「多職種連携研修会」</u></p> <p>●平成29年3月30日（木）18時45分～20時45分</p> |

| | |
|--------------------------|--|
| | <p>テーマ</p> <p>第1部 ざま介護支援専門員協会オープン講座 睡眠薬を含めたリスク評価と転倒へのアプローチ 講師 座間総合病院 総合診療科 田所 浩 副院長 (共催：座間綾瀬医師会・ざま介護支援専門員協会・エーザイ株式会社)</p> <p>第2部 転倒予防に関するワーキング(グループワーク) ファシリテーター マザーホームクリニック 松山 斉久医師 (共催：座間綾瀬医師会・座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会)</p> <p>内容 第1部は、睡眠薬服用中の転倒リスクについて医師からの講演、第2部は、転倒転落による骨折で入院しないように医療・介護の現場で何ができるのかをグループ討議を実施。</p> <p>場所 サニープレイス座間多目的室A B</p> <p>●平成29年12月2日(土) 18時45分～21時00分</p> <p>テーマ 支え合う地域づくりを目指して ～大田区の取り組み「高齢者見守りネットワーク」(愛称：みまーも)を知ろう～</p> <p>講師 社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長 澤登 久雄氏</p> <p>内容 先進的な取り組み「おおた高齢者見守りネットワーク(通称 みまーも)」の仕組みを紹介し、医療・介護・福祉従事者が日頃から地域の高齢者と繋がる大切さを学ぶ。</p> <p>場所 サニープレイス座間多目的室A B</p> <p>参加者 市内を拠点として活動している医療・介護。福祉従事者44名 会議メンバー25名 合計69名</p> |
| <p>研修・講演会の事前準備及び役割分担</p> | <p>① テーマと日時の設定(委員)、会場確保(事務局) 日時は、各職種が集まり易い土曜日の夕方～夜間がよい。</p> <p>② 講師の選定(委員)、講師依頼・講師との調整(委員・事務局) 講師謝礼は、市の予算から支出する。上限額あり。</p> <p>③ 当日の流れの検討(委員・事務局)</p> <p>④ チラシ作成(委員・事務局)</p> <p>⑤ 周知(事務局) 医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業所、厚木保健福祉事務所、庁内関係部署</p> <p>⑥ 申込受付・グループワークのグループ編成(事務局)</p> <p>⑦ 当日配布資料の作成・印刷(事務局)</p> <p>⑧ 当日の司会、受付、会場設営・片付けを分担して担う。(他チーム、参加者の協力あり)</p> <p>⑨ アンケートの集計・報告(事務局)</p> <p>※ 研修・講演会内容は、チーム内で検討したのち親会議にはかり最終決定をした。 ※ 必要時、子会議のほかに打ち合わせを実施することがあった。</p> |
| <p>今後の課題</p> | <p><u>市民向け講演会について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民向け講演会は、土曜日の午前中に実施した。比較的出向きやすい時間帯なのか、参加者が以前より増えた。 ・一つのテーマをシリーズ化し企画してはどうか。(テーマから学びを深めるため) ・地域の会合や集まり、住民祭等に出向き、地域包括ケアについて普及してはど |

うか。

多職種連携研修会について

- ・研修に参加する事業所数が増えない。(同じ事業所が繰り返し参加している)より多くの事業所が参加出来るように周知方法を検討する。
- ・研修に参加した顔の見える関係はある程度構築できたため、グループワークのグループを、同職種で分ける(看護職、CM、介護職等)、市の問題点の共有と、それについてのフリートーク等を実施してはどうか。
- ・今後は、在宅医療推進に関する専門職グループが出来る様なので、在宅医療介護連携の研修テーマ、年間回数、周知方法、評価について十分に検討し実施して欲しい。

地域資源把握について

- ・当初、当チームで「市民向け 介護事業所、施設に関する情報誌」の作成について検討していたが、座間市地域在宅医療介護連携支援室が設置されたことにより、今後は支援室を中心にどのような情報提供が適切であるか再考してほしい。
- ・当チームで課題となっていたのは、新情報をどのように更新して行くのか、その管理についてだった。

高齢者見守り活動事業について

- ・地域包括支援センターから報告された地域課題検討会議の課題から「高齢者見守り活動」が抽出された。その課題について、当会議でも先進事例等を含めた研修会や講演会を開催し、地域の高齢者見守り活動の重要性を認識した。
- ・当会議委員は、今後の高齢者見守り活動推進及び問題解決に向けた体制整備(高齢者見守りキーホルダー事業)が開始されることを望み、協力をする。進捗状況等は、適時当会議で共有したい。